

ひだか市民ネットワーク 成田なおこ

議会レポート & 活動報告 <vol.4 2024>

一般質問に際し、担当者との対話や自身の調査や学びを進めていくのはとても根気のいる作業です。しかしその過程がやはりとても大事なことに気づかされます。日高市の特性を生かしたまちづくりの道筋や課題に対しての自分の考えがクリアになっていきます。いよいよ議員活動2年目に突入です！

文化芸術を大切に、個性あるまちづくりで日高を輝くまちに！

私は文化芸術は人間性を涵養するものだと感じています。「人間が人間らしく生きるため重要で、共に生きる社会の基盤を形成するもの。世界の多様性を維持し世界平和の礎となる。多くの文化の果たす機能や役割にかんがみて文化を大切に社会を構築することが必要」との文化審議会の答弁に私は深く共感しました。

文化財活用による地域力UPについて今回質問しました。祭りはコミュニティを強くする、子どもは獅子舞を通して多くを学ぶことができる等無形文化財である獅子舞等文化財のポテンシャルは大きいと考えます。

一方で少子高齢化や暮らしの多様化、地縁社会の薄まりにより文化の伝承者不足等の課題があり、価値ある文化財の保存継承を地域全体で取り組むべきでしょう。

埼玉伝統芸能サポーター制度等の県の取り組みは企業や学校も環境を整えるなど文化を大切に機運の醸成につながると感じます。文化財を地域全体で保存・活用していく方策や、時代や価値の変化により未指定のものや、日和田山・巾着田周辺の景観含め文化財の価値の再評価も検討しているのか質問。地域全体で担っていくことは文化財保護法改正の趣旨にも合致するとしてうえて、文化財を身近に感じてもらい、継承の取組の必要を市は感じているとの答弁でした。R6年度から地質や眺望などの再調査含め総合的な調査を実施し、指定や登録制度の活用を検討し適切な保護・活用を図るとの答弁でした。



←諏訪神社の獅子舞(ひだか歴史名勝ナビより引用)

文化財保持は地域の特色を示し暮らしの重要なポイントであると市は認識しており、「日高市文化財保存活用地域計画」の策定にも着手し文化庁の認定を受ける予定とのこと。この認定により補助金の活用も促されることを期待します。

多角的情報発信の検討についての考えをお聴きました。仮想と現実を組み合わせ利用できるひだか歴史名勝ナビを3/21にHP内に公開スタート！是非皆さん文化財を身近に感じるツールとしてご活用と市外の方にもアピールをお願いします！

博物館・美術館のない日高市。高麗郷民俗資料館には更なる機能拡充、文化芸術の拠点等非常に重要な施設と考えます。公共施設再編計画では現在の施設は廃止の計画ですが、今後のあり方はどうなのでしょう？

高麗郷民俗資料館は古民家への一部機能移転の予定でしたが、高麗小学校が官民共用施設としての活用を検討中のため計画は一時延期するとのこと。

民俗資料館は先人が使ってきた歴史が染み込んだ実物に触れる感覚や体験できる重要な場と市は考えています。民俗資料館の在り方を市民のアイデアや意見含め様々な可能性を考えていければと思っています。



↑国登録有形文化財旧新井家住宅(ひだか歴史名勝ナビより引用)

ひだか
歴史名勝ナビ



一般質問の様子は
こちらから



3月議会トピックス

なおこ's
VIEW

令和6年度一般会計予算

▶担い手農家育成事業 環境保全型農業直接支払い補助金 54万円

有機農業栽培や堆肥の施用など、環境に優しい営農活動に対して支援する補助金制度。市内で有機農業に取り組む農業者で構成される団体が1団体あり補助金を活用する。

▶防災減災緊急対策事業負担金 262万5千円

防災重点農業用ため池に指定されている仙女ヶ池。ため池施設の劣化状況評価を実施し、一部に修繕が必要であるとの結果であったため、工事のための調査費につきまして、業務委託料を県と按分。

▶森林管理意向調査委託料が新規計上 337万7千円

森林環境譲与税を活用し、高麗地区の山林所有者、約300件を対象として、森林整備に関する意向調査を実施。今後の森林整備の計画等に活用する。

▶幹線道路等舗装補修事業の設計等委託料 721万6千円

幹線道路の舗装補修工事の対象路線の決定のために、路面性状調査を5-6年周期で実施。

▶企業誘致推進事業の特定施設設置奨励金 1000万円

企業誘致により設置した施設における埋蔵文化財発掘調査費用として日高市遺跡調査会に支払った費用の一部を交付。

▶広域飯能斎場組合負担金 5022万8千円

広域飯能斎場の建て替えに伴う整備費として建設費負担金計上。

令和5年度補正予算

▶橋りょう新設改良費 3220万2千円

国の補助金採択を受けられることによる「清流橋」の修繕実施。

▶職員の柔軟な働き方推進のため職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部が改正され夏季休暇の使用可能期間を延長。

職員368人のうち101人の28%は5日間の休暇を取得できていないとのことでした。

▶会計年度任用職員に勤勉手当が支給

▶日高市子ども家庭センターを設置

▶粗大ごみ等の戸別収集を実施するので手数料を改定

series
column

国政・市政を斬る

第四斬

『政治とカネと生活』問題を斬る

※予定していました「日高市ゴミ問題」を変更してお届けしますことをご了承下さい

自民党派閥の政治資金パーティーの還流が公の下に晒され「政治とカネ」問題がまたしても政治不信を招いている。では、いつから「政治とカネ」は問題になっていたのだろうか。

無論、太古の昔からだろうが、「金権政治」という言葉が一般化したのは田中角栄の手法からだろう。ロッキード・リクルート・東京佐川事件と度重なる「政治とカネ」問題は、その後の政治資金規正法改正や小選挙区制導入、政党助成法（政党交付金）成立に多大な影響を与えた。

近年でも歯科連閣献金・モリカケ事件・河井元法相夫妻買収事件・桜の会・安倍元総理銃撃事件云々、全てが金に直結している。この中で一般市民があってはならない手段で行為に及んだのが安倍元総理射殺事件だ。当初は自分の境遇を憂いた逆恨みかと思われたが、蓋を開けると、新興宗教と政治の癒着、宗教二世の家庭崩壊など、現代社会の闇が次々と炙り出されることとなった。

政治は生活に直結している。

お金は政治だけの問題ではない。それこそ生活そのものだ。貧困と非行の因果関係は、時代背景と犯罪の相関関係よりも複雑だ。

時代背景は社会全体が共有しているが、貧困は(DVや育児放棄・虐待も同じく)家族単位であるから発見が遅れたり、入り込めない部分がある。

つづきはこちら▶

